社会(公民的分野) 第3学年

1. 教科の目標

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義,特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ, 民主主義に関する理解を深めるとともに,国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
- (2) 民主政治の意義,国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
- (3) 国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に 主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その 平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
- (4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察 し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

2. 評価の観点とその趣旨

			T		
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	我が国の国土と歴史、	社会的事象の意味や意義、特色や	社会的事象について、国家及び社会		
	現代の政治、経済、国	相互の関係を多面的・多角的に考	の担い手として、よりよい社会の実		
趣	際関係等に関して理解	察したり、社会に見られる課題の	現を視野に課題を主体的に解決しよ		
	しているとともに、調	解決に向けて選択・判断したこと	うとしている。		
計	査や諸資料から様々な	を説明したり、それらを基に議論			
	情報を効果的に調べま	したりしている。			
	とめている。				

3. 評価の観点と評価方法

	-	一学	期		-	二学	期			三 学	期	
評価方法 観 点	小テスト	作業・提出物	中間・期末	授業観察	小テスト	作業・提出物	中間・期末	授業観察	小テスト	作業・提出物	学年末 考査	授業観察
知識・技能	0	0	0	\circ	0	0	0	\circ	0	0	\bigcirc	\circ
思考・判断・表現	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
主体的に取り組む態度	0	0	0	0	0	0	0	0	\circ	0	0	0

○… 取り上げる評価方法 ◎… 取り上げる評価方法のうち特に重視するもの

社会 年間評価計画 (第3学年)

月		単元 または 教材	指 導 内 容	指導方法と評価の観点
	公民			○授業観察 (全観点)
4	1章	現代社会と私たち	・グローバル化	※全期間ご実施
		①現代社会の特色と私たち	・少子高齢化	
		②私たちの生活と文化	・くらいご生きる伝統文化	1学期
5		③現代社会の見方や考え方	・社会集団の中で生きる	○定期考査
	2章	個人の尊重と日本国憲法	・人権歴史	知•思•主
		①人権と日本国憲法	・日本国憲法の基本原理	○ノート点検
		②人権と共生社会	・基本的人権について	偲•主
		③これからの人権保障	・グローバル社会と人権	○∫テスト
	歴史			知•思•主
	6章	二度の世界大戦と日本	・大正デモクラシーと政党内閣の成立	Oレポート
		②大正デモクラシーの時代	・世界恐慌とブロック経済	知·思·主
		③世界恐慌と日本の中国侵略	・日中全面戦争	
6		④第二次世界大戦と日本	・第二次世界大戦	
	7章瑪	見代の日本と私たち	・占領下の日本	
7		①戦後日本の出発	・民主化と日本国憲法	
		②冷戦と日本の発展	・日本の高度経経済成長	
		③新たな時代の日本と世界	・冷戦後の国際社会	2学期
	(公臣	民)		○定期答
9	3章	現代の民主政治と社会		知•思•主
		①現代の民主政治		○ノート点検
1 0		②国の政治のしくみ	・民主主義と政治	偲•غ
		③地方自治と私たち	・政治参加と世論	○小テスト
1 1	4章	わたしたちの暮らしと経済	・国会の地位としくみ	知•思•主
		①消費生活と市場経済		
1 2		②市場経済の仕組みと金融	・わたしたちの消費生活	
		③財政と国民の福祉	・労働者の権利	
1		④国民生活と福祉	・市場経済の仕組み	3学期
		⑤これからの経済と社会	・少子高齢化と財政	
2	5章	地球社会とわたしたち	・世界の中の日本経済	○定期答
		①国際社会の仕組み	・地球の様々な姿	知・思・主
3		②さまざまな国際問題	・国際社会における国家	○ノート点検
		③これからの地球社会と日本	・文化の多様性	偲∙弟
	終章	よりよい社会をめざして		○Jテスト
				知・思・主